

＃2 熊野神社・日枝神社

展示期間：令和3年12月28日～令和4年3月26日

展示の概要

市内各地の祭礼に関する道具を地域ごとに順次展示いたします。多彩な伝統が継承されてきた昭島の祭礼をより身近に感じていただくために、神輿や囃子道具をはじめ、多様な資料を展示してまいります。

熊野神社

延文5年（1360年）、和歌山県の熊野本宮の分霊を勧請奉祭したと伝えられています。

かつては「熊野大権現」「熊野大神」と称していましたが、明治29年（1896年）の神社制度の改正を受けて、「熊野神社」に改称しました。

現在の社殿は、嘉永5年（1852年）に中久大尽こと中神村の中野久次郎が再建して寄贈したものです。

平成31年（2019年）に、神社本殿及び拝殿が昭島市有形文化財に指定されました。



日枝神社

中神村に熊野神社が勧請される以前は、日枝神社が中神村の鎮守であったという伝承があります。平安時代の創建であるとの口伝もあります。

本社は、近江の国（現在の滋賀県）の日吉大社（現在の日吉大社）に発し、祭神は大山咋命です。

「山王様」「産土様」とも呼ばれています。

境内には、享保12年（1728年）建立の庚申塔があります。



中神の獅子舞

中神神社に伝わる獅子舞は、16世紀末（およそ400年前）に、当時の領主である北条氏照の庇護の下、五穀豊穰を祈って広がったと伝えられています。

かつては、秋の例大祭で神輿渡御に代わって獅子が村内を巡行していましたが、現在では4月の春祈禱で町内を巡行しています。

昭和62年（1987年）に東京都指定無形文化財に指定されました。



江戸街道

中神駅

中神熊野神社

昭和郵便局

中神バス停

福巖寺

中神停車場通り

日枝神社

奥多摩街道

くまの じんじゃ ひ え じんじゃ まつ 熊野神社・日枝神社のお祭り

くまの じんじゃ 熊野神社

くまの じんじゃ なかがみちよう
熊野神社は中神町にある神社です。
くまの だいごんげん くまのおおかみ
むかしは、「熊野大権現」や「熊野大神」と
呼ばれていましたが、明治29年（1896年）に
「熊野神社」に名前を変えました。
いざなみのみこと はやたまのみこと ことときおのみこと みほしら
伊弉冉尊、速玉男命、事解男命の三柱の神様
まつ
を祀っています。
へいせい あきしましゆうけい ぶんかざい
平成31年（2019年）に、昭島市有形文化財に
指定されました。

ひ え じんじゃ 日枝神社

ひ え じんじゃ くまの じんじゃ なかがみむら
日枝神社は、熊野神社ができるまで中神村を
守っていたと言われている神社です。
おおやまくいのみこと まつ
大山昨命という神様を祀っていて、神社は
さんのうさま うぶすなさま
「山王様」や「産土様」と呼ばれています。

なかがみ しし まい 中神の獅子舞

なかがみ しし まい
中神の獅子舞は、畑や田んぼで作物がたくさん
しゅうかく いの
収穫できるようにお祈りするために、およそ
400年前に始まったと言われています。
なかがみむら
むかしは秋のお祭りで中神村をまわっていま
したが、いまは春のお祭りで中神町をまわりま
す。
しし まい ひ え じんじゃ ほうのう
獅子舞は、日枝神社に奉納された後、町内を
まわって、最後に熊野神社に奉納されます。
しし まい しし はながさ
獅子舞は、3頭の獅子と、花笠を被った6人の
ささらすり
箆摺の少女を中心に構成されていて、12通りの
演目があります。
12通りの演目を全て演じるのは、東京都の中
でも、なかがみ しし まい しょう
中神の獅子舞だけだと言われている、昭
わ どうきょうと してい むけい みんぞくぶんかざい
和62年（1987年）に東京都指定無形民俗文化財
に指定されました。

担当学芸員より

今回は、市内に伝わる祭礼道具展示の第2回として、熊野神社・日枝神社の神輿及び市指定無形文化財の「中神の獅子舞」にて使用される道具を中心に展示が実現いたしました。
ご協力いただいた熊野神社の皆様、日枝神社の皆様と、熊野神社獅子舞保存会の皆様に、深く御礼申し上げます。

昭島市郷土資料室

〒196-0012 東京都昭島市つつじが丘3-3-15 アキシマエンシス国際交流教養文化棟1階
TEL：042-543-1523 FAX：042-542-8002
URL:https://www.akishimaensis.jp/guide/heritage_list.html

アキシマエンシス